

2. ゾーニングの実施

2.1 情報の収集

2.1.1 既存情報の収集

ゾーニングを行う上で必要となる動植物や景観、まちづくり、騒音等などの環境保全に関する情報や風況、地形などの事業性に関する情報について、既存情報の収集・整理を行った。

表2 収集した既存情報の概要

区 分	収集データの概要
自然条件	風況、標高、水深、地形 など
法令等規制等	国定公園、保安林、鳥獣保護区、砂防指定地 など
土地（海域）利用等	河川、農地、住居、学校、病院、港湾、航路、漁場 など
インフラ整備状況等	送電線、道路、既設発電所 など
既存文献資料等	動植物、藻場、景観資源、眺望点 など

2.1.2 アンケート・ヒアリング等による情報の収集

ゾーニングを行う上で必要となる情報について、関係機関へのヒアリングによる意見交換や市民アンケート等を通じて既往資料等で把握が難しい情報の収集を行った。

表3 アンケート・ヒアリングの実施概要

種 別	実 施 概 要
市民アンケート	無作為に抽出した市民 1000 名を対象とし、風力発電に関する市民意識や石狩市で守りたい自然環境や景観等に関する意見を収集した。
関係団体アンケート	地域固有の自然環境の情報を幅広く収集するため、地域の自然保護団体等の 14 団体に対してアンケートを実施した。
有識者ヒアリング	ゾーニング手法、現地調査手法、動植物等に関する情報について有識者との意見交換を実施した。
地域関係者・関係機関とのヒアリング、協議	関係機関への事業説明、連絡調整の他、海域の利用状況等についてのヒアリングを行った。

2.1.3 現地調査による情報の収集

ゾーニングを行う上で必要となる情報を補完することを目的として、植物、鳥類、海域生態系、景観に関する現地調査を実施した。

表 4 現地調査の実施概要

項目	調査季 実施年度		調査内容	目的・ねらい
鳥類	H29	冬季	海ワシ類渡り (定点観察)	渡り期に南下するコース、居付き個体の域内移動状況等把握
			冬鳥分布 (スポットセンサス)	冬季生息鳥類の種類・行動等把握 40地点程度で実施
			荒天時 (踏査・任意観察)	荒天時に静穏な港内に避難してくる沖分布鳥類の動向等把握
	H30	春季	ガン・カモ・ハクチョウ類渡り (定点・踏査)	春渡り期に北上するガン・カモ・ハクチョウ類の渡りルート、中継地及びねぐら⇄餌場間の移動等の状況把握(特に石狩川及び周辺湿地)
		夏季	繁殖状況 (スポットセンサス)	海ワシ類を含む当該地域で繁殖する鳥類の状況等把握 植生等の環境の状況に応じ地点を配点
			猛禽類調査 (定点・踏査)	猛禽類の生息状況(繁殖状況)を把握
			洋上鳥類状況 (洋上センサス)	洋上に分布する鳥類の動向等把握 石狩湾内 岸一沖 2 測線
秋季	秋渡り (定点・踏査)	秋渡り期に南下するガン・カモ・ハクチョウ類の渡りルート等把握		
植生	H30	夏季	植生 (衛星画像・現地踏査)	生態系の基盤情報として、植生図を衛星画像の解析により作成、教師データ取得のため現地調査を実施
海域生態系	H30	夏季	海生哺乳類等状況	洋上鳥類調査の際、鯨類の目視調査も併せて実施(魚類その他の海生生物の状況については漁業関係者との意見交換等により把握)
景観	H30	適時	主要地点からの眺望 景観資源の現地状況確認	アンケート、ヒアリング、観光資料等で得られた主要な眺望点や景観資源、守りたい風景について現地調査を適宜行い、フォトモニター、視野範囲、景観要素等を確認